

eBASE株式会社

2013年3月期第2四半期 決算と事業報告

当資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2012年11月15日

会社概要

- 会社名： eBASE株式会社 （証券コード：3835）
- 設 立： 2001年10月
- 資本金： 190百万円
- 本社所在地：大阪市北区豊崎5丁目4-9 商業第二ビル
- 理 念：
貢献なくして利益なし、利益なくして継続なし、継続なくして貢献なし
社会から求められ、賛同を得られるサービスでないと利益を得ることはできない。
利益を上げないと、そのサービスを継続し成長させていくことはできない。
結果的に、継続した成長を提供できるサービスでないと社会貢献ができない。
- 事業内容：コンテンツマネジメントソフト「eBASE」の企画開発・販売・保守
- グループ会社：
eBASE-NeXT株式会社：「eBASE」のクラウドサービス・データプールサービスの運用
eBASE-PLUS株式会社：「eBASE」の受託開発、受託オペレーション、受託サーバー保守・技術者派遣
- グループ総従業員数： 370名（378名/役職員含む）

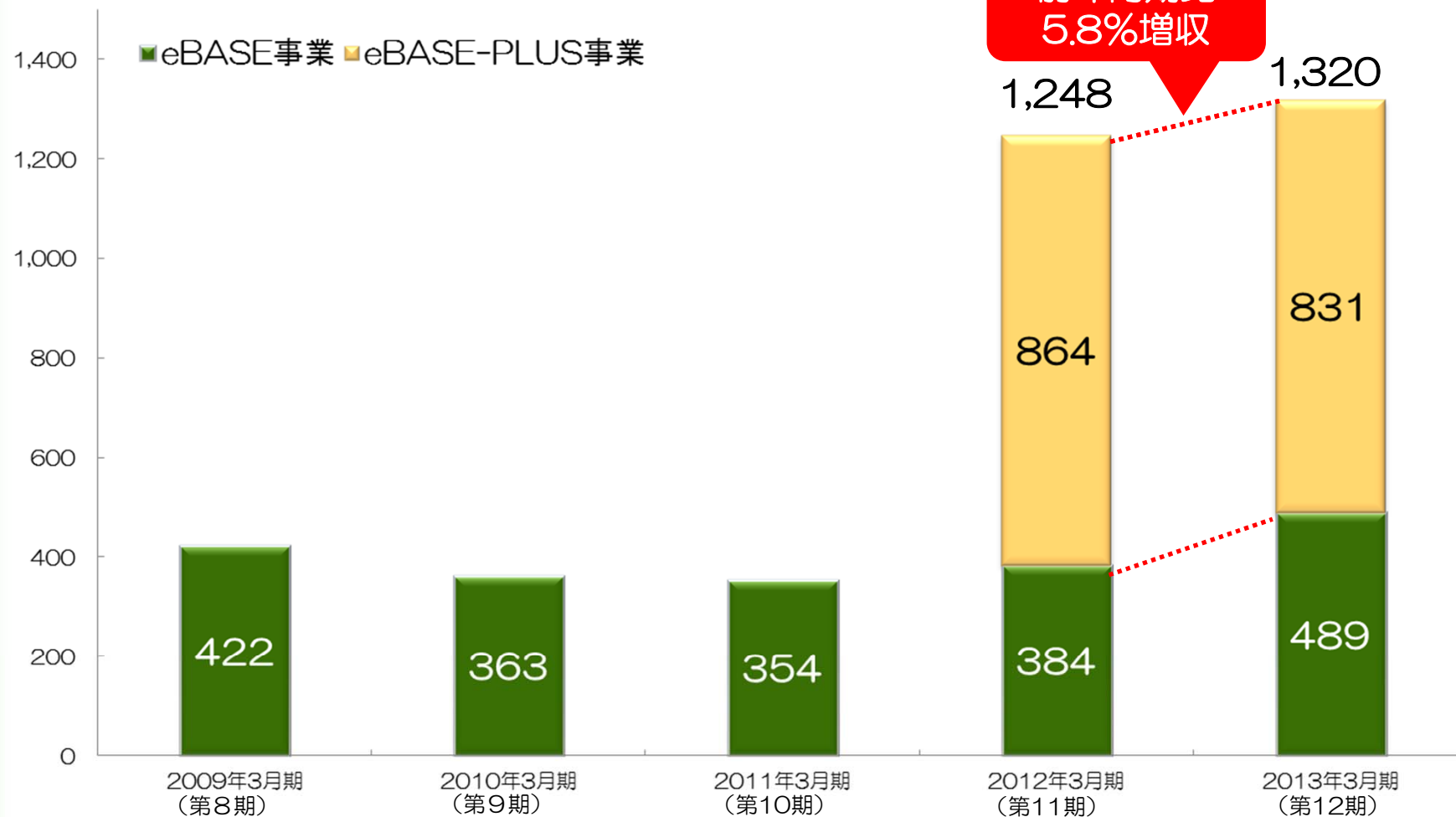
（2012年9月現在）

2013年3月期第2四半期決算 (2012年4月～2012年9月)

- 第2四半期の連結売上高の推移
- 第2四半期の連結経常利益の推移
- 第2四半期連結業績推移
- 第2四半期連結貸借対照表
- 連結業績予想と第2四半期連結実績

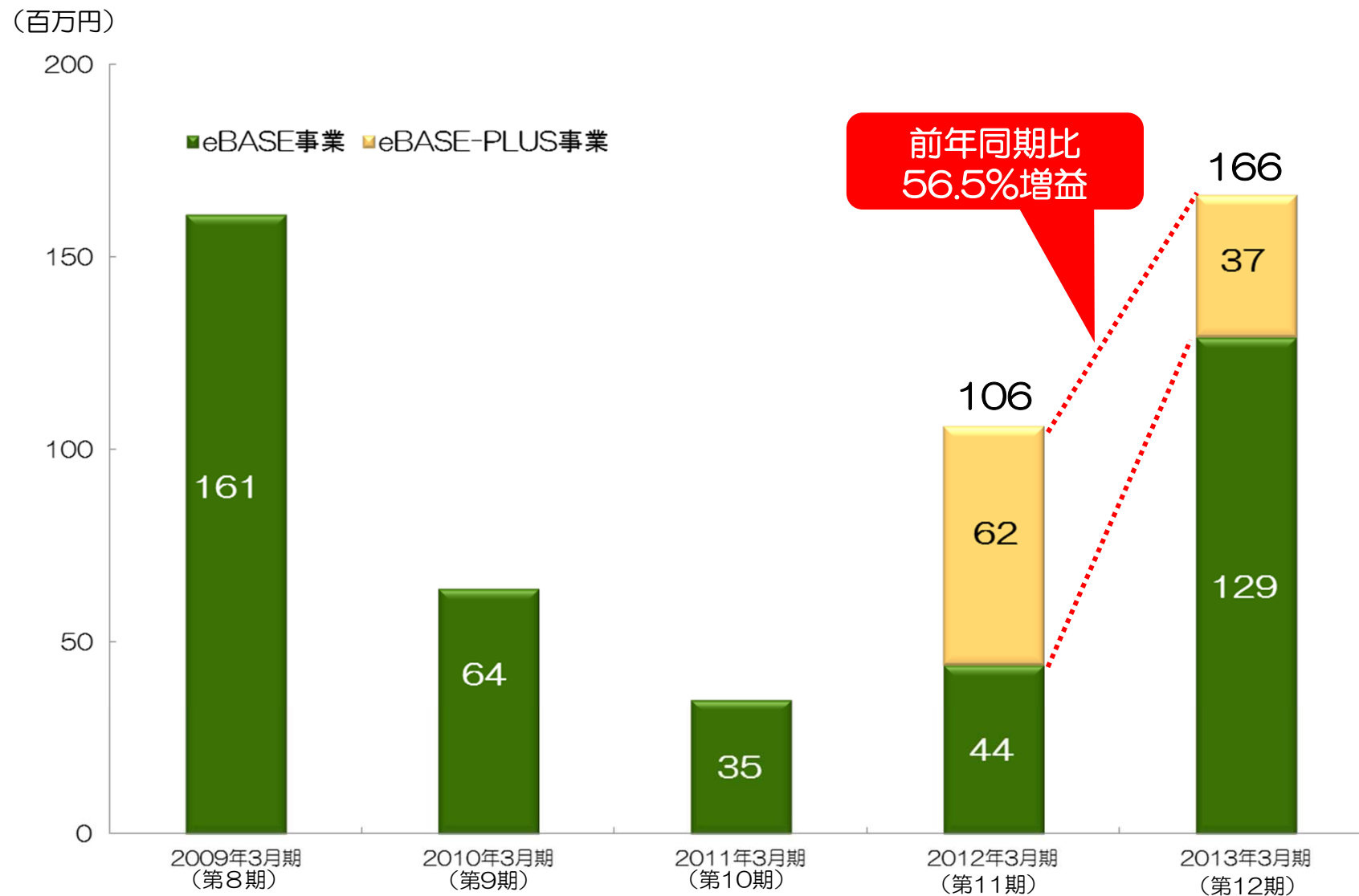
第2四半期 連結売上高の推移

(百万円)



(注) 2011年3月期(第10期)第4四半期に連結子会社(eBASE-PLUS株)が事業譲受を行っております。
セグメント間取引については、相殺消去しております。

第2四半期 連結経常利益の推移



(注) 2011年3月期(第10期)第4四半期に連結子会社(eBASE-PLUS株)が事業譲受を行っております。
セグメント間取引については、相殺消去しております。

第2四半期 連結業績推移

(単位：百万円)

	2009年3月期 (第8期)	2010年3月期 (第9期)	2011年3月期 (第10期)	2012年3月期 (第11期)	2013年3月期 (第12期)
売上高 (eBASE事業) (eBASE-PLUS事業) (セグメント間取引)	422 (422) (-) (-)	363 (363) (-) (-)	354 (354) (-) (-)	1,248 (384) (864) (△1)	1,320 (489) (857) (△26)
営業利益	159	63	33	91	160
経常利益 (eBASE事業) (eBASE-PLUS事業) (セグメント間取引)	161 (161) (-) (-)	64 (64) (-) (-)	35 (35) (-) (-)	106 (44) (62) (△0)	166 (129) (37) (△0)
四半期純利益	94	38	19	61	99

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

第2四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期 (2012年3月末)	当四半期 (2012年9月末)	前期末比	
流動資産	1,235	1,247	13	現金及び預金+64 受取手形及び売掛金△61
固定資産	304	510	206	
(有形+無形資産)	(69)	(65)	(△4)	のれん△4
(その他)	(235)	(446)	(210)	長期性預金+200
資産合計	1,539	1,758	219	
流動負債	290	451	161	未払法人税等△46 未払金+183
固定負債	1	1	—	
負債合計	291	452	161	
株主資本合計	1,242	1,300	58	利益剰余金+57 (配当金支払 △42) (当期純利益の計上+99)
新株予約権	2	2	—	
少数株主持分	4	4	—	
純資産合計	1,248	1,306	58	
負債・純資産合計	1,539	1,758	219	

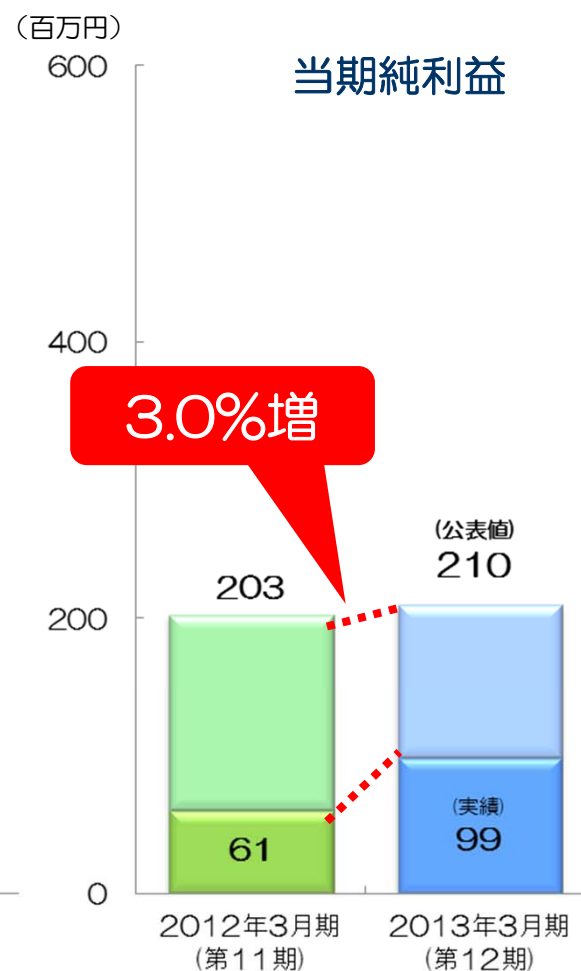
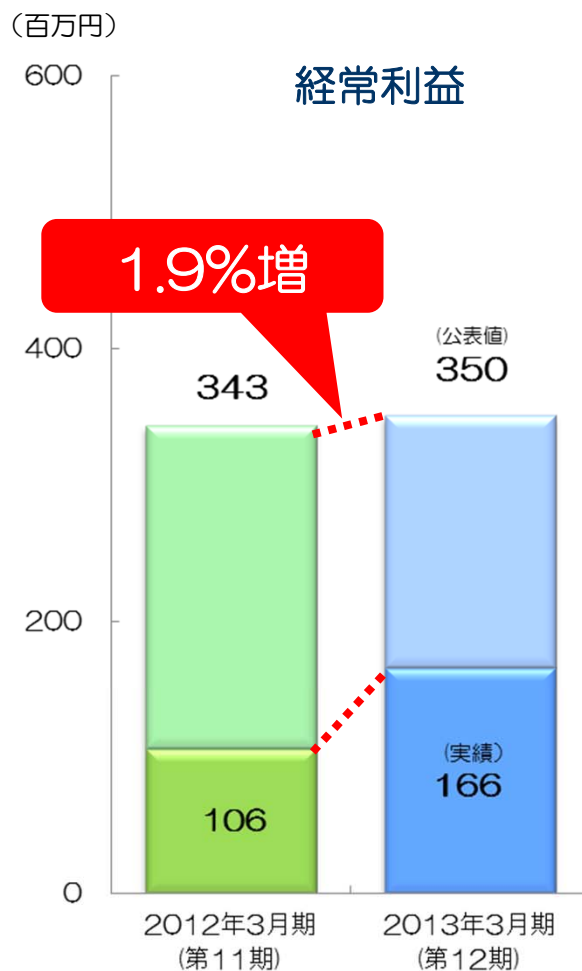
2013年3月期の連結業績予想と第2四半期連結実績

(公表値) ■ 2013年3月期(通期)

(実績値) ■ 2013年3月期(第2四半期累計期間)

■ 2012年3月期(通期)

■ 2012年3月期(第2四半期累計期間)



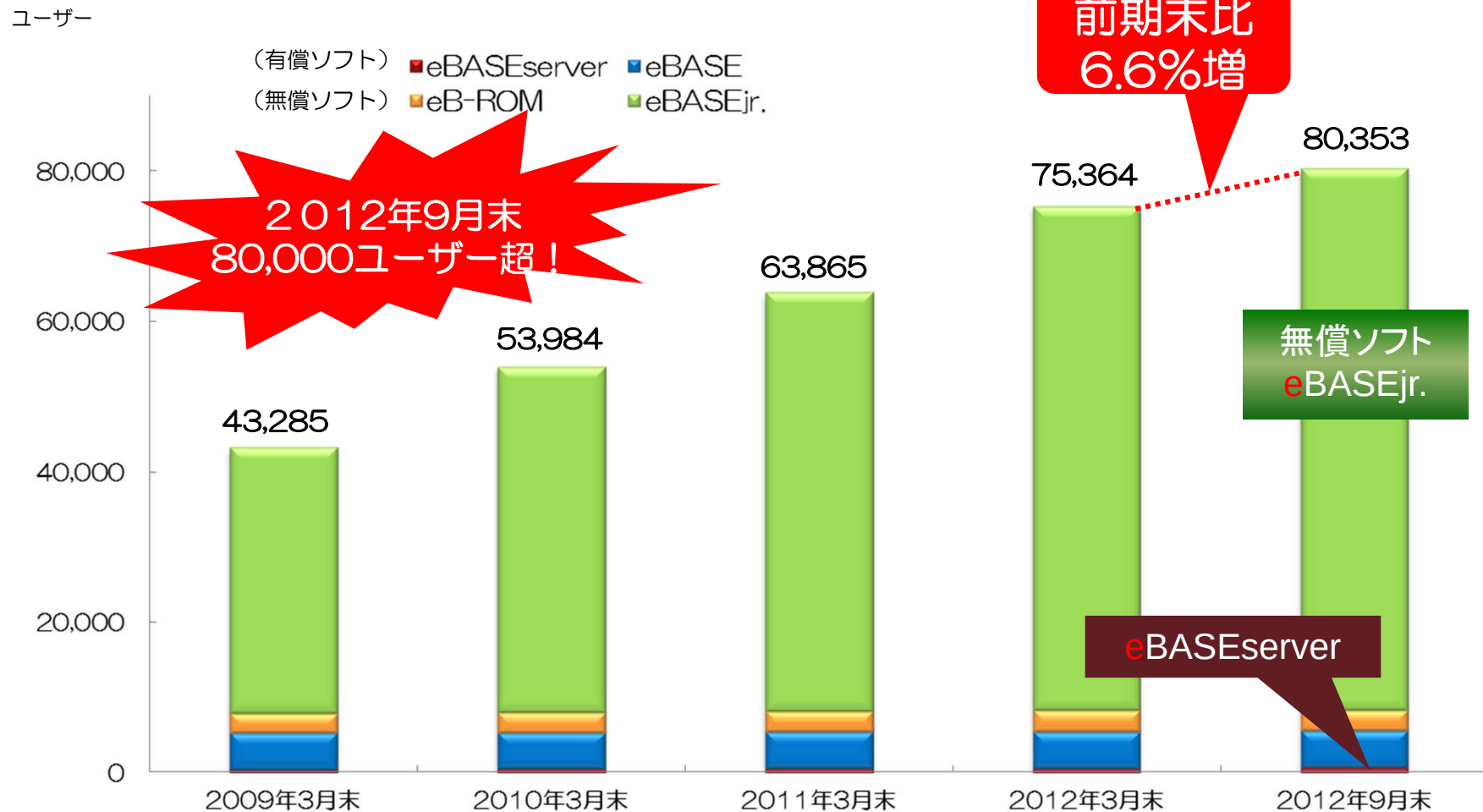
eBASE事業報告

- 製品ユーザー数の推移
- 業界別ユーザー数の推移
- 第2四半期 種類別販売実績の推移
- 第2四半期 業界別売上実績の推移
- 今年度施策とその進捗報告

製品ユーザー数の推移

商品情報交換の標準プラットフォームとして着実に普及！

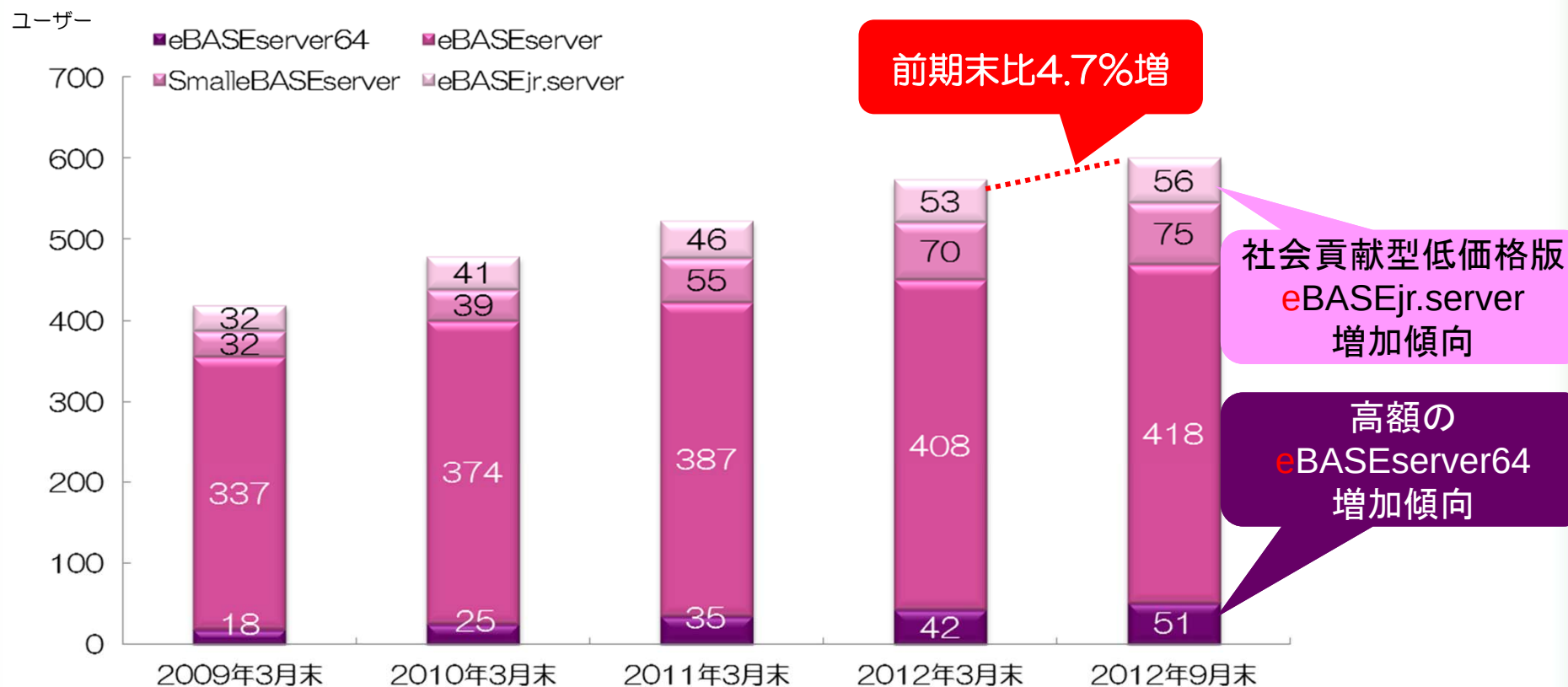
総ユーザー数（2012年9月末現在）



eBASEserverユーザーの推移

無償ソフトeBASEjr.ユーザーによる 最上位eBASEserverへの自発的グレードアップを促進！

累計ユーザー数（2012年9月末現在）



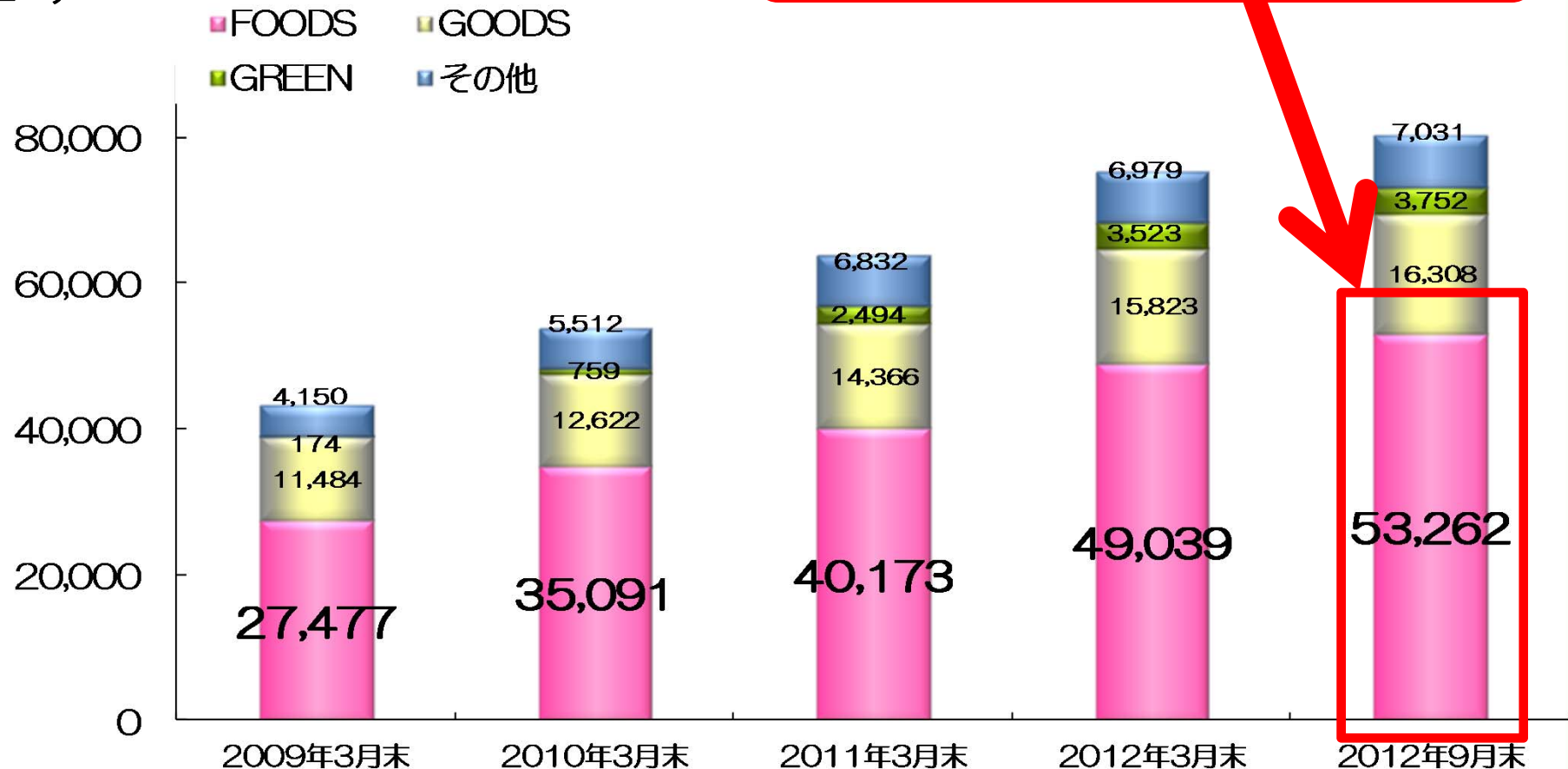
業界別ユーザー数

幅広い業界で商品情報交換の標準プラットフォームとして普及!

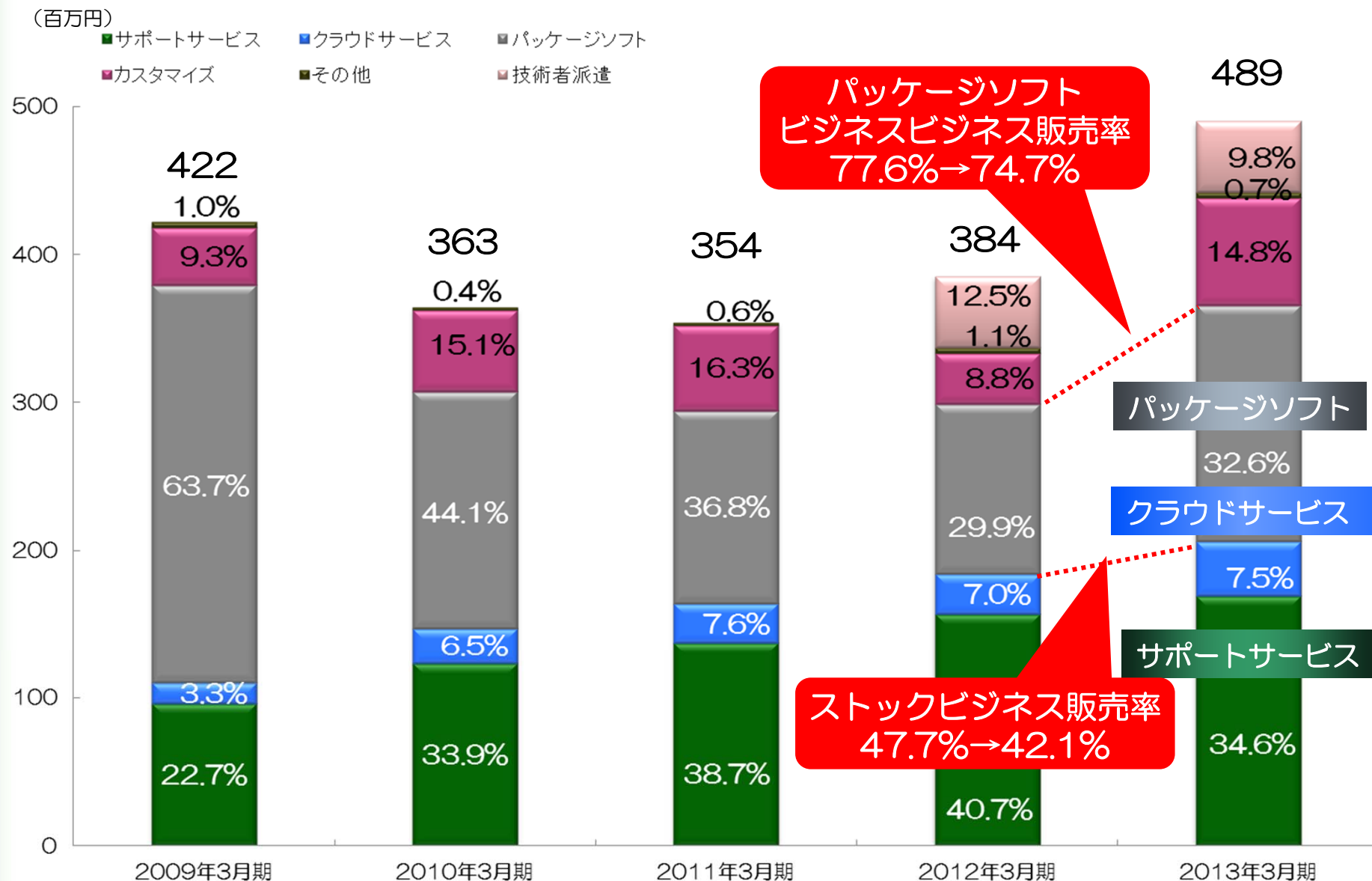
総ユーザー数（2012年9月末現在）

食の安全ニーズで継続普及
約53,000ユーザー/約16,000社

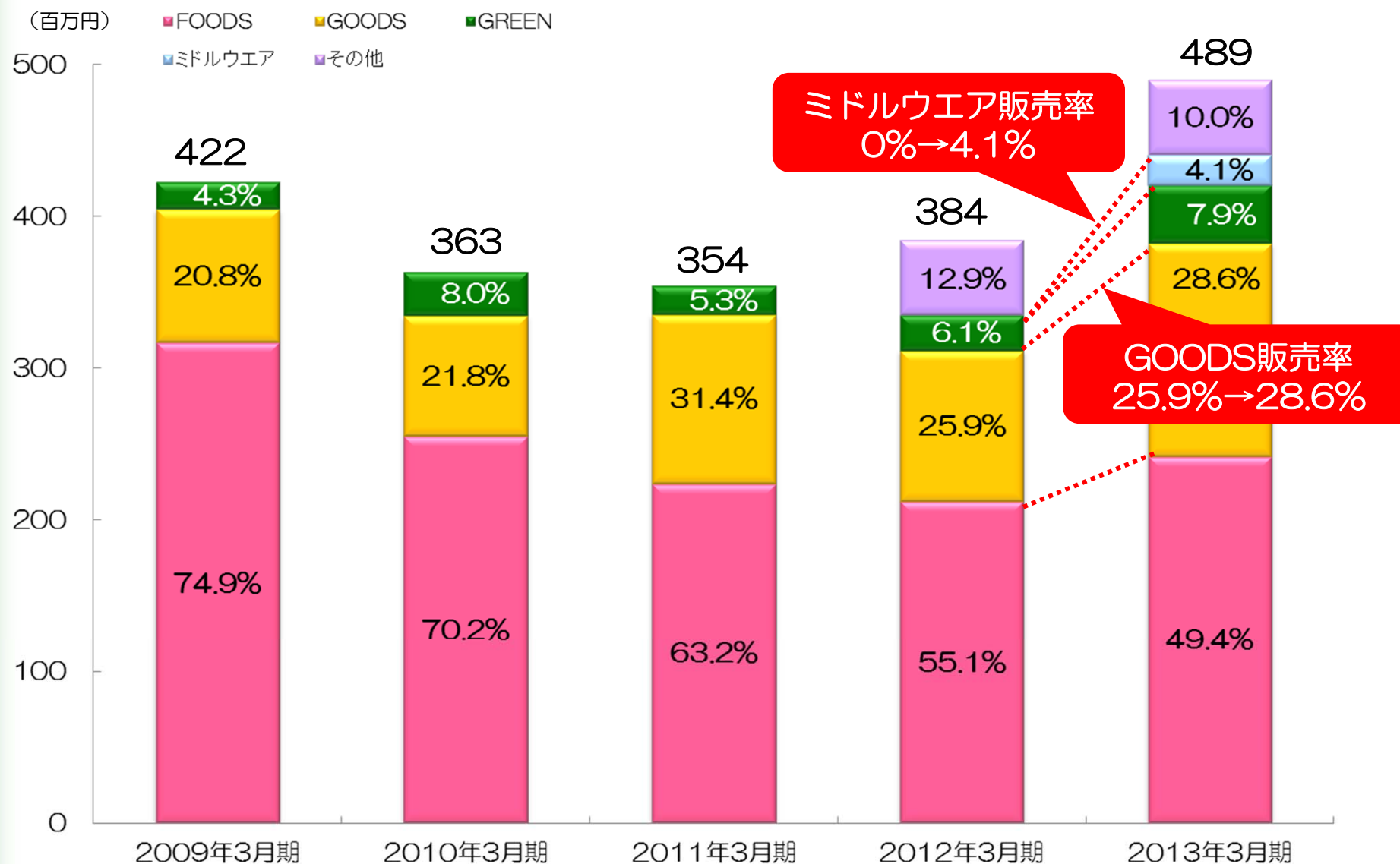
ユーザー



第2四半期 種類別販売実績の推移



第2四半期 業界別売上実績の推移



今年度施策とその進捗報告①

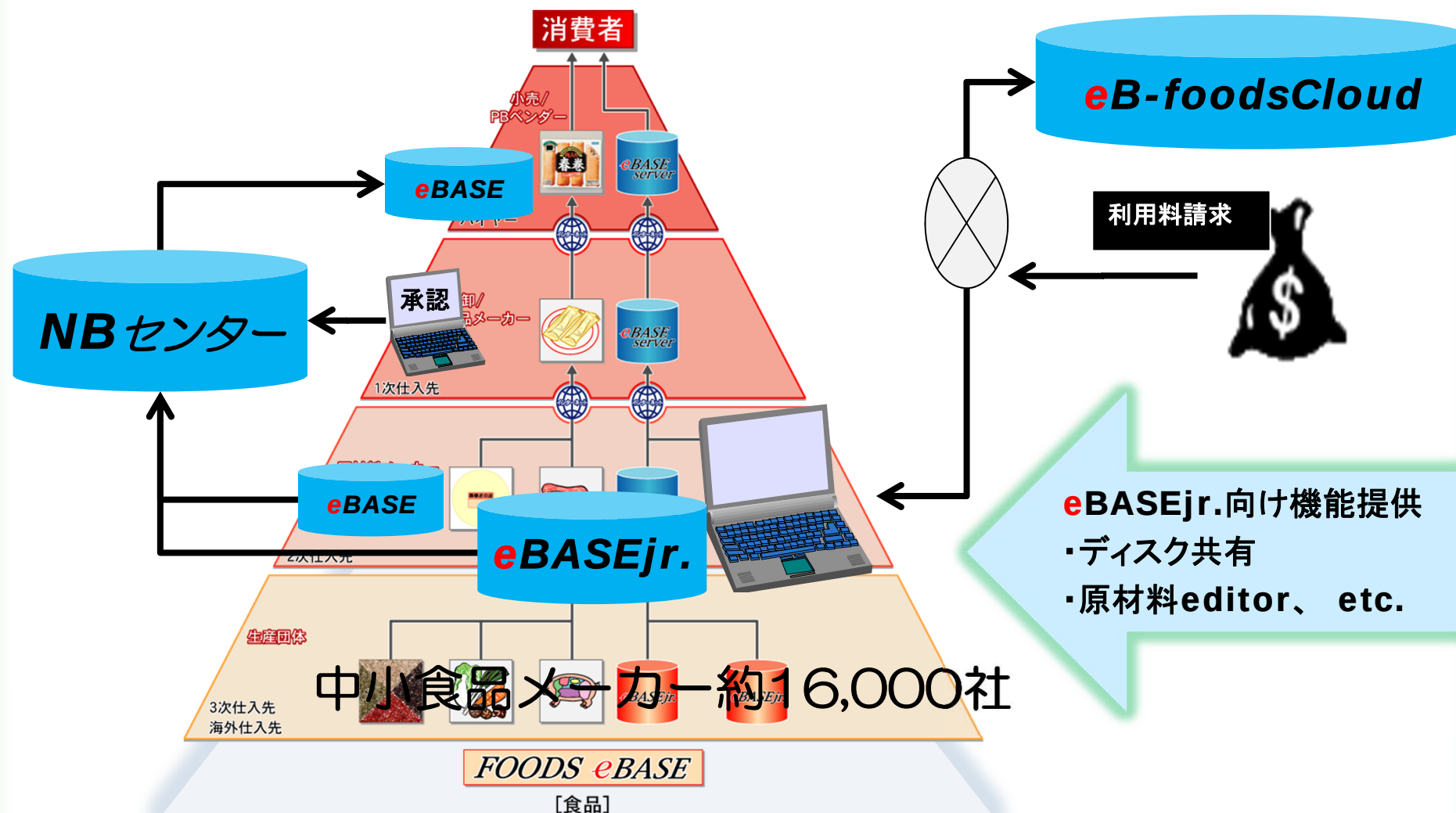
- **FOODS eBASE** / 公表売上内訳比率 16%
 - 現事業モデルの継続推進
 - クラウド&ストックビジネスの推進
 - eBASE商品情報交換の普及に伴い、FOODS eBASEの採用が増加
 - 社内他システムとの連携事例の増加により、継続受注案件が増加
 - 既存サポートビジネスは順調に推移（169百万 前年比+8.0%）
- **GREEN eBASE** / 公表売上内訳比率 3%
 - 「OR2ISプロジェクト」対応のGREEN eBASEの拡販を推進
 - 欧州の債務危機や家電不況による影響で計画未達
- **GOODS eBASE** / 公表売上内訳比率 6%
 - 既存の業界別商品DBビジネスの継続推進
 - ミドルウェア eBASEを使ったカスタマイズ型商品DBの受注強化
 - 顧客別にカスタマイズした商品DBソフトの開発販売が予想以上に順調に推移

今年度施策とその進捗報告②

- **eBASEミドルウェアビジネス** / 公表売上内訳比率 9%
 - 受託開発案件の受注促進 • 開発プラットフォームeBASEの機能強化
 - パートナー企業の開拓や基幹系サブシステムの受注促進
 - eBASEノンプログラミング開発環境の機能強化を継続
 - 「FOODS eBASE」、「GOODS eBASE」が順調なため、計画的に注力を抑える

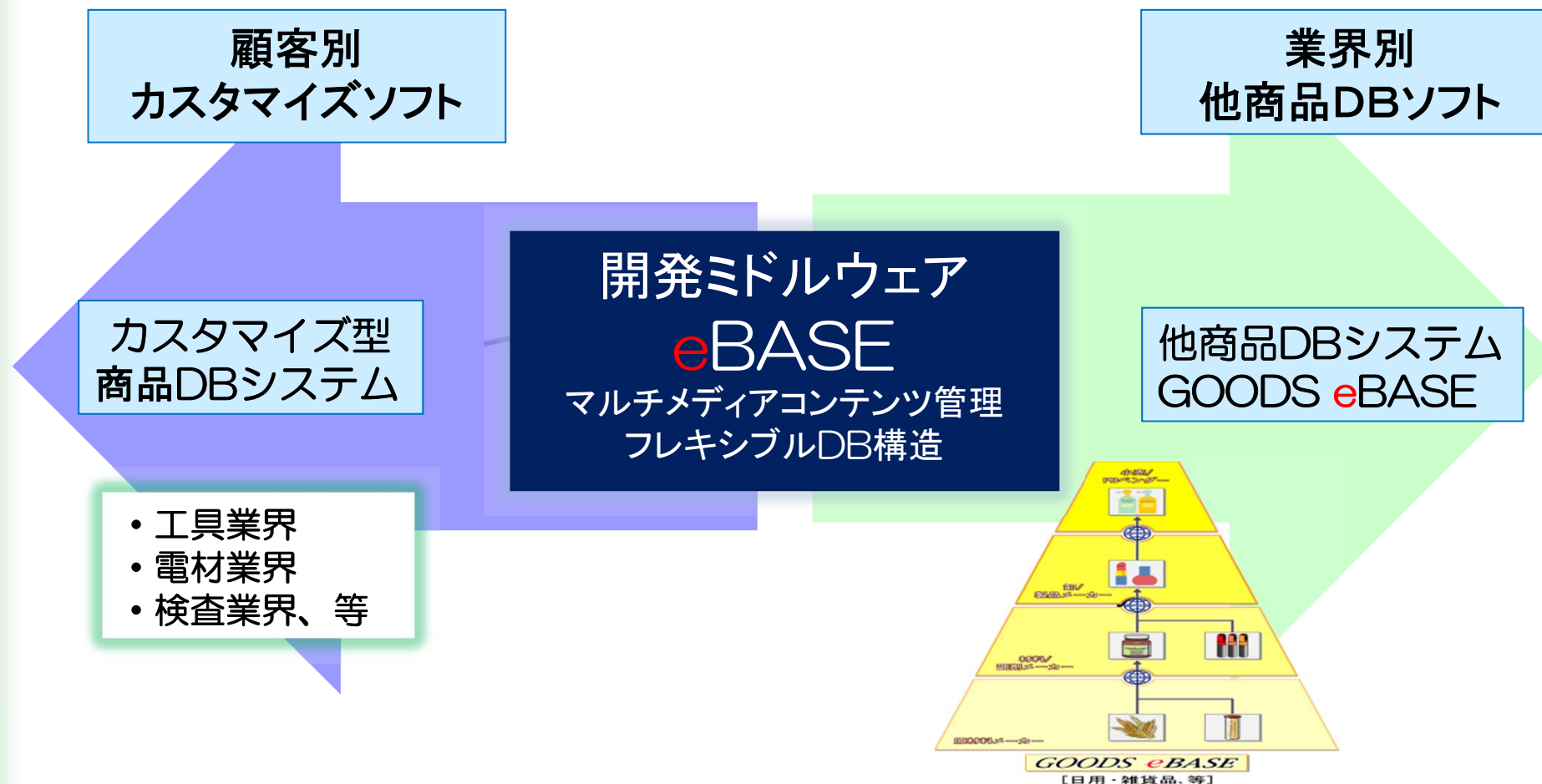
- **eBASEソリューションビジネス** / 公表売上内訳比率2%
 - eBASE関連ビジネスの人材確保 • eBASEビジネスのPLUS社直受注
 - eBASEソリューションビジネスで親会社との取引が増加
(26百万 前年比+25百万)
 - 経営合理化の業務効率向上策を継続して推進し、計画を上回る増益
 - 今年度後半期より、eBASE IT派遣ビジネスをPLUS事業に移管
(売上：44百万 売上総利益：14百万)

FOODS eBASEの概要と進捗/eBASE事業



- 既存サポート事業は順調に推移
- 各種オンプレミス製品のクラウド化を着手するも販促、拡販遅れ

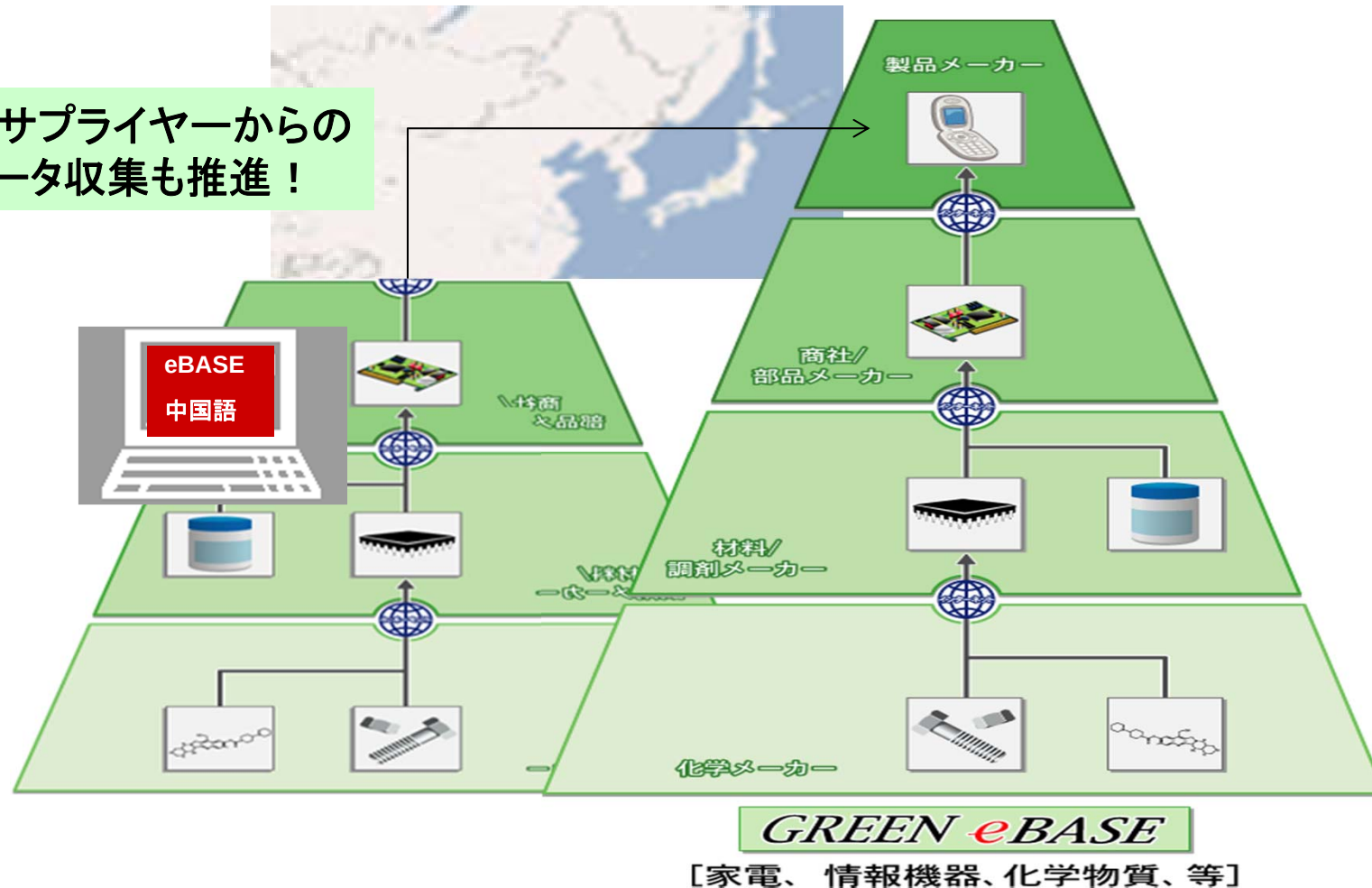
GOODS eBASEの概要と進捗/eBASE事業



- 特化した業界（工具、電材、検査等）へ攻略アプローチを継続攻略
- 顧客別にカスタマイズした商品DBソフトの開発販売が予想以上に順調に推移

GREEN eBASEの概要と進捗/eBASE事業

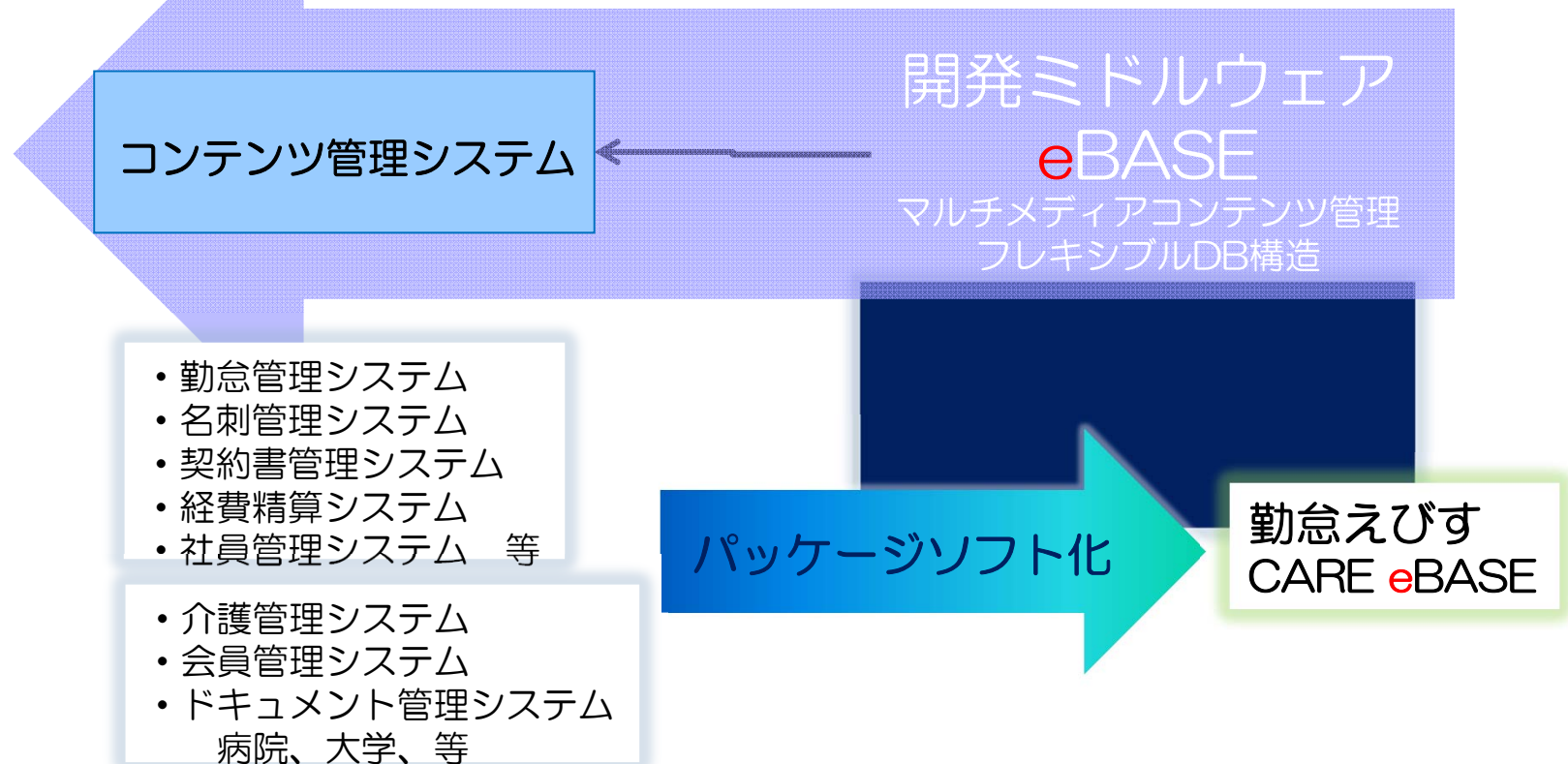
中国サプライヤーからの
データ収集も推進！



- 欧州の債務危機や家電不況による影響で計画未達
- 今後、「OR2IS(オーリス)」プロジェクト関連の拡販を推進

eBASEミドルウェアビジネスの概要と進捗/eBASE事業

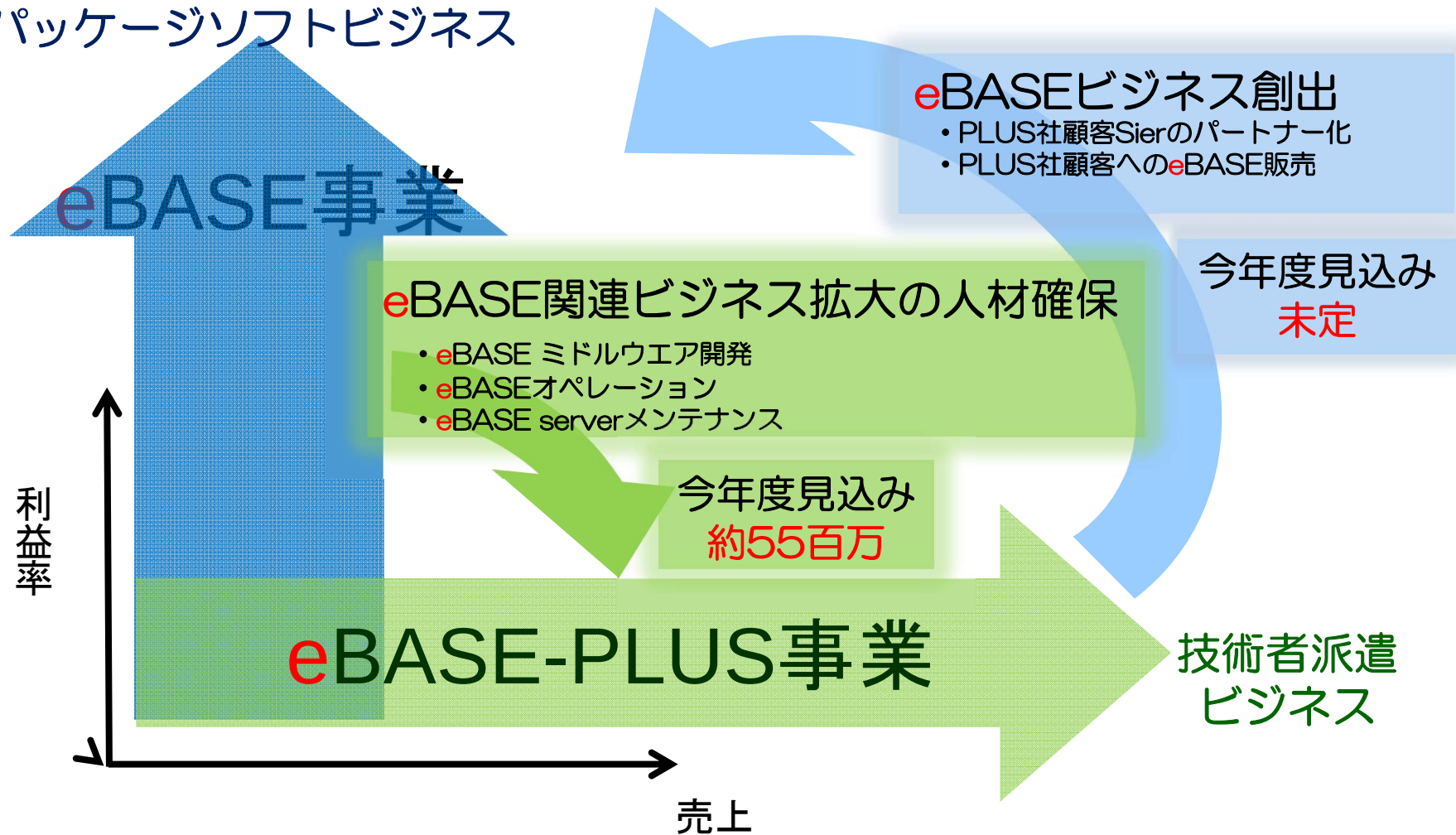
eBASEミドルウェア事業(受託開発事業)



- パートナー企業の開拓や基幹系サブシステムの受注促進
- **eBASE**ノンプログラミング開発環境の機能強化を継続
- 「FOODS **eBASE**」、「GOODS **eBASE**」が順調なため、計画的に注力を抑える

eBASEソリューションビジネス / eBASE-PLUS事業

パッケージソフトビジネス



- eBASEソリューションビジネスで親会社との取引が増加
- 経営合理化の業務効率向上策を継続して推進し、計画を上回る増益
- 今年度後半期より、eBASE IT派遣ビジネスをPLUS事業に移管

本資料お取扱い上の注意点

本資料は決算説明及び当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

IRに関するお問合せ
管理部 06-6486-3955
management@ebase.co.jp